



山形県の 英語教育充実だより

令和7年10月版②
山形県教育局
義務教育課

Topic

調査問題から授業改善を考えよう ～「書くこと」編～

令和5年度全国学力・学習状況調査問題（英語）から、今回は「書くこと」の資質・能力の育成に向けた授業改善について考えていきましょう。

全調査問題はこちら →



書くこと

（ ）内の英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。

9 (1) ②

必要があれば（ ）内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させなさい。

<友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

正答例 Where did you buy

(県正答率 12.8%)

どんな力をみる？

疑問詞を用いた一般動詞の二人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる。
【知識・技能】

つまずきはどこ？

誤答例 (34.0%の生徒) “Where do you buy” “Where bought” “Where were you buy”

→ 時制を正しく判断することができていない。

→ 正確に一般動詞の疑問文を書くことに課題がある。

誤答例 (12.4%の生徒) “Do you buy” “Are you buy” “Did you”

→ 疑問詞 where を用いて疑問文を書くことを理解していない。

→ 正確に一般動詞の疑問文を書くことに課題がある。

誤答例 (26.8%の生徒) “It’s buy” “buy” “bought”

→ 会話の流れから疑問文で応答することに気付いていない。

この一手！

- ・関連のある文法事項を整理しよう。(共通点や相違点など)
→ 例：現在形と過去形を「時制」として整理、to 不定詞や関係代名詞を「修飾」という側面から整理
- ・場面や状況に応じて文の形式や時制を判断して書こう。
→ 特定の文法事項を用いた英文の穴埋めや並べ替えだけでなく、文脈のある英文の中で、文脈から文の形式や時制を判断して英文を書く。
→ 書いた英文を自分で読み直して修正したり、ペアや全体で共有して正確な英文に書き直したりする。
- ・教師やALT、他の生徒に質問したこと(話したこと)を書き出して、正しく質問することができているか確認しよう。

ここで成果を確認

県 Step Up 評価問題 「書くこと」 ①、② (中1・2)、③ (中2)



学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。

10

あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

正答例

Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. [33 words] (県正答率 4.3%)

(正答の条件)

- ①学校生活の中から1つ取り上げている。
- ②紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。
- ③25語以上の英語で書いている。

どんな力をみる？

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。 【思考・判断・表現】

つまずきはどこ？

約4人に1人が
「無解答」

誤答例 (27.4%の生徒)

"We school have a sports festival. It is held in the October. Also, It is so excited and tired, but I think that great memory in the junior school life."

→ 条件①②③を満たしているが、基本的な語や文法事項等を理解して書くことができていない。(コミュニケーションに支障をきたす誤り)

誤答例 (14.2%の生徒)

"My school is very nice. I play badminton. It's practice hard. But very interesting. I have many friends. They are kind, interesting and so cute. I am happy every day."

→ 条件①③を満たしているが、文と文の順序や、「主題と具体例」という説明文の文章構成を意識して書くことができていない。

誤答例 (30.4%の生徒)

"We are school is sport fastival on the September. It's very enjoy because run. Tsunahiki and dance."

→ 条件③を満たしていない + 基本的な語や文法事項、英語の語順等を理解して書くことができていない。

この一手！

・読む活動や話す活動を書く活動につなげよう。

①読む活動から書く活動へ

→ 文章構成を確認しながら読む。

例：最も伝えたいこととその理由（意見文）、主題とその具体例（説明文）

→ テーマに応じて、文章構成を意識しながら書く。

②話す活動から書く活動へ

→ 話す活動のまとめや復習として、発話内容を書く。

・教師は、生徒が書いた英文へのフィードバックを工夫しよう。

①内容を充実させるための視点を示す。

例：「例えば？」「理由は？」「どんな〇〇が一番好き？」

②正確さを高めるための視点を示す。

例：誤りのある箇所を印で示す（コレクションコード）

③生徒が再度英文を書き、before-afterが見えるようにする。

英文を書くことが難しい生徒には、視点に加えて、「I like ○○ the best.」など、具体的な英文例を示すなどの支援も考えられます。

ここで成果を確認

県 Step Up 評価問題 「書くこと」 3 (中1)、4 (中2)

